



ダムを地域振興に結びつけよ

高橋 和子
(会派 高志会)

◆平成28年度の工事宿泊者は6400人

問 ダム建設は目前。地域がダムという資源を活用できるようにすべき。

答 付替道路に付帯する駐車帯の設備や、鳥海山を望めるビューポイントの設置など、整備するよう検討している。

問 ダム工事最盛期には1日300人から400人が現場に入ると言われている。地場産業が協力するための体制を整備する時期にきているが。

答 事業関係の宿泊者は、平成27年度は3500人、平成28年度は6400人と増加している。工事が本格化すると、更なる増加が見込まれる。

地域経済の効果が現れるよう、地元宿泊施設や商店・飲食店などの利用について商工会と連携を取り進める。

問 ダム完成前後の地域振興策も今から進めるべきだ。

質問項目
1. 鳥海ダム建設について
2. 健康寿命の延伸について
3. 若者（中学生、高校生、大学生）の政治参加について
4. 地域農業の継続について

答 鳥海山、法体の滝、玉田溪谷など観光資源があり、付替道路は重要な観光道路なので事務所と協議し進める。またこのエリアにダムが加わり完成後はもとより、建設中の工事現場も観光資源である。

またジオパークなどと連携した、ダムツーリズムの推進などで地域の活性化、市全体の発展に結びつくように取り組む。

◆若者もまちづくりを

問 若者たちが自由にアイデアを出し、さまざまな団体、市民、地元企業、大学、地域メディアなどと連携、協力しながら、企画活動を行えるようなプロジェクトを立ち上げれば地元愛着活性化につながると思う。またアリーナの利活用などの意見を聞くなどしたらどうか。

答 若者たちの意見や提言の機会を設けることは、地域の誇り、愛着の醸成につながると考える。アリーナ利活用について高校、大学生を対象としたワークショップを行う。

質問項目
1. 国保会計について
2. 再生可能エネルギー発電について
3. 農作業事故の未然防止を
4. 羽越本線・上越新幹線の利用促進を
5. 教育振興について
6. 北朝鮮問題に備えた国の「危機管理」について

の負担は増加が見込まれている。

◆風力発電に条例などの整備を

問 2026年を目指して本市沖合に世界有数規模の洋上風力発電ができるという。市民の声は概ね環境に負荷をかけないエネルギーは良しとしつつも、「再生エネ」と冠すれば何でもいいのか。

洋上にまで風車が林立することなど、風景の変化も無視できない。市長の見解を求める。

答 本市の恵まれた自然環境を活かした再生エネルギーは、地域経済の活性化にもつながる。

条例化については、市環境基本条例について定めているので、新たな条例は必要ないものと考えている。



負担増が懸念される国保

佐々木 隆一
(会派 日本共産党)

◆国保会計の収支の見通しは

問 高すぎる国保会計の引き上げは加入者の切なる思いでもある。本市では過去2年間で2万9000円の引き下げがあり加入者から喜ばれた。

平成28年度から29年度の1人当たりの収支の伸びはいくらと想定されるか。現行税率を適用していくのか。

答 平成29年度の国保財政の見通しは高齢化などにより1人当たり2.5%伸びると予想し、国保財政の改善のため今議会に条例改正案を提出している。

◆国保財政の都道府県化について

問 来年度から国保の運営主体を市町村から都道府県に移管する。大幅な引き上げにつながるのではないか。

答 広域化によって財政運営の安定化を図ることを目的に、県が運営主体となる。試算によれば本市



安定的な水の供給確保を!

伊藤 岩夫
(会派 公明党)

◆本市の水道施設の現状は?

問 水インフラは、今後一気に老朽化の波が押し寄せて来る。本市の水道台帳などに基づく水道施設の現状は?

答 管路更新率は、過去5年平均で33%である。石綿セメント管は、本荘・大内・西目・鳥海地域に約57km残っている。更新については、年間5kmの計画で進めている。

耐震化率については、平成27年度末で、9.6%であり、基幹管路を中心に耐震化を進めている。

問 更新などの工事の実施や水道料金への理解を求めるため、アセットマネジメントの結果に基づく、健全な水道事業継続のため、水道料金はどのように設定していくか。

答 現行の水道料金は、市の「第一次水道施設整備計画」に計画された経費を基に独立採算制

質問項目
1. 水道事業の現状と将来の見通しについて
2. 空家対策について
3. 災害時における避難所や病院等でのお湯等飲料の確保について
4. 就学援助における「ランドセル等新入学児童生徒学用品費」の入学前支給を可能にするための対応について

の原則により設定したものである。

今後の料金については、水の供給のために必要な資産更新を行い、財政との連携を取りながら、安易な値上げとしないように対応していく。



水を大切に

◆空家対策について

問 空家の利活用について、積極的な空家活用施策を講じてはどうか。

答 国が支援する「住宅確保要配慮者あんしん居住推進事業」の導入について検討する。



市営住宅松涛団地の今後の方針は

高野 吉孝
(会派 市民創風)

◆松涛団地は老朽化しており、対策が必要でないか

問 昭和年代に建てられた297戸の大半が耐用年数を過ぎている。総戸数347戸の内入居戸数は249戸で、空き戸数は98戸、空室率は28.2%である。また、高齢者の単身世帯も62戸と多く、建物の不具合も多い。今後の方針について伺う。

答 松涛団地は一部を建替え、その一方で家賃を抑えるために個別修繕を行う既存住宅も残していく。今年度から始まる団地再生の事業計画で、団地全体への説明会や個別対応の中で、団地全体の居住環境の改善を図る。

◆新山公園の整備について

問 石脇地区では「町内会長連絡協議会」などで、年3回新山公園の清掃などの整備活動を実施しているが、膨大な面積であるため、毎回作業が完了しない。町内会で整備する限度を超えていると考え

質問項目
1. 高齢者が安心して暮らせる医療や介護の充実について
2. 産業振興による雇用の確保について
3. 市営住宅松涛団地の今後の方針について
4. 新山公園の整備について
5. 「鳥海山・飛鳥ジオパーク」による観光振興について

られる。残った部分を市当局でお願い出来ないか。

答 今後、石脇町内会などで対応出来ない作業については、状況を確認し、石脇財産区とも協議をして対応する。

◆「鳥海山・飛鳥ジオパーク」による観光振興について

問 鳥海山の活動が始まった約60万年前より以前の約500~800万年前に、海底火山の噴火により噴出した新山安山岩が集中してみられる新山公園一帯など、地殻変動に関するものもジオサイトに追加すべきと思うが。

答 ジオサイトを新たに追加するには学術的価値について、専門家の評価が必要であるが、新山公園一帯をはじめとした地域の魅力ある場所をジオサイトに追加するよう、協議会に働きかけていく。



地域別の要望事項に対して

三浦 晃 (会派 市民創風)

◆各総合支所との連携は

問 「地域別まちづくりビジョン」に提示されている各地域の要望を、支所との連携を密にしながら、確認することも必要と思うが。

答 各地域のまちづくり協議会の意見を集約し、基本的な方向性をまとめたものである。各支所と情報を共有し、優先順位や実施時期の協議を重ね、確認しながら事業を実施している。

◆平成30年産からの作付け調整は

問 平成30年度に稲作生産調整が廃止となり、稲作を主体としている農家は、今後の米価の動向に大きな不安を抱えている。行政として農協と連携しながら、積極的な関与と政策を早めに提示すべきと思うが。

答 県は「県全体の米生産量の目安は提示するが、市町村ごとの目安は提示しない」としている。

質問項目

- 1. 3期目の抱負について
2. 新創造ビジョンについて
3. 農業行政について
4. 鳥海山観光について
5. 北朝鮮による不測の事態に備えた防災意識は
6. 少子化に向き合った学校教育について

市では国・県の情報をもとに、農協と基本方針や算定方法を検討しており、年内には各農家へ「生産の目安」を示す予定である。また、引き続き土づくりによる高品質な米生産を後押ししていく。

◆鳥海山を核とする観光を

問 県と協同で進めている祓川道路の拡幅や、トイレの設置など計画通りに進んでいない。ソフト面から鳥海山をPRしてはどうか。(修験の山・管理人が整備した康新道・山越えをした庄内兵の話など)

答 観光情報システムによるPRや、案内人の会による鳥海山の歴史の説明を行い、更なる魅力の発信に努めていく。



在宅介護での看取り支援とその充実を

梶原 良平 (会派 高志会)

◆「地域包括ケアシステム」市民への周知は

問 相談窓口の運営業務を、一部社会福祉協議会に委託しているが、委託業務内容の実施確認について、どのような点に留意して行うのか。

答 市では、社会福祉法人や医療法人が運営する市内11カ所の在宅介護支援センターに、「高齢者等相談窓口運営業務」を委託し、高齢者や家族の相談に応じ、地域包括支援センターにつないでいる。

相談件数や内容について毎月報告を受けるとともに、担当者会議を定期的開催し、情報共有を図りながら、相談者の課題解決に取り組んでいる。

質問項目

- 1. 地域包括ケアシステムについて
2. 空家の実態と対応について
3. 2025年問題等について

◆総合在宅ケアセンターの設置、関係機関への呼びかけを

問 在宅医療の充実について、病気に係る看護と暮らしに係る介護、その両方の架け橋となるのが看護師であり、訪問介護である。

福祉や介護を含め、看取りの支援充実のためにも、総合在宅ケアセンターを設置検討すべきでないのか。

答 本市では、「第6期 介護保険事業計画」において、定期巡回、随時対応型訪問介護看護や、看護小規模多機能型居宅介護の民間事業者の新規開設を募集しているが、残念ながら現在応募者はいない。

「第7期 由利本荘市高齢者保健福祉計画」において、医師会などと協議を進めながら、在宅を支える仕組みの一層の充実を図っていく。

質問項目

- 1. 由利高原鉄道バス事業について
2. 風力発電事業について
3. さくら満開のまちづくりについて
4. 北朝鮮ミサイルへの対処について
5. スポーツ振興計画から

と納税の寄附金が大幅に増えた場合、本荘公園の根本的整備などさらなる活用を検討する。芋川桜づつみは、トイレや四阿(あずまや)、駐車場などの整備とイベントの開催など、関係部署や観光協会などと協議しながら、魅力ある観光地となるよう努める。

◆指導員・サポーターの養成必要!

問 障がい者スポーツの推進は。

答 市総合体育館で7月、在宅障がい者やスポーツ推進員、総合型スポーツクラブ関係者を対象にパラリンピック公式種目の「ボッチャ」や「卓球バレー」の実技講習会を開催する。今後も、障がい者団体や特別支援学校体育連盟、福祉担当部局などと連携しながら、肢体不自由や知的障がいなどの特性に応じた利用環境を整備し推進に努める。



鳥海山観光は公共アクセスが必要!

渡部 聖一 (会派 高志会)

◆由利鉄バス事業 改善計画は大丈夫?

問 将来的方向性は。

答 改善計画が確実に実行されるよう、経営指導計画に基づく指導、サポートを行う。公共アクセス的路線の開発は、鳥海山矢島口と象潟口を縦走する登山者に対し、矢島駅から祓川(はらいかわ)までのシャトルバスを運行してニーズ把握を行うとともに、「鳥海国定公園観光開発協議会」で、にかほ市や酒田市などと連携できないか提案していく。

◆さくら満開のまちづくりの展開は

問 今後の「ふるさとさくら基金」の活用方針と、芋川桜づつみの観光名所化への整備は。

答 平成27年度実施の状態調査に基づき、基金の大部分は植栽やテングス病の剪定、ウソの食害対策などを5カ年計画で集中的に実施中。ふるさ



※左から、佐々木議員、村上議員、伊藤議員

永年勤続 議員表彰
第93回全国市議会議長会定期総会が5月24日東京都内で開催され、永年にわたる市議会議員としての功績が認められ、3人の議員が表彰されました。
●在職20年以上 村上 亨氏
●在職15年以上 伊藤 順男氏 佐々木 隆一氏

関係私企業の請負契約などの状況報告

議会議員政治倫理条例にかかわる関係私企業との10万円を超える請負契約などについて、市長から4月17日付けで報告がありましたので次のとおり公表します。

Table with 6 columns: 関係する議員, 事業名, 請負人の氏名, 金額, 契約年月日または支払い年月日, 契約期間または物品等納入期日. Rows include渡部 聖一 and various contracts.



各会場からいろいろな意見をいただきました。その一部を紹介します。

市への要望

鮎川鳴瀬台の橋の復活を。

個別所得補償の継続をお願いしたい。



黒森貯水池近辺への不当投棄の監視強化を!

公民館は施設整備してから譲渡してほしい。

今から(仮称)木のおもちゃ美術館のPRをすべき。

できない理由を述べるのではなく、どうすればできるかを考えてほしい。

バスのラッピングや車内広告に力を入れてみたら。

由利高原鉄道の通学費への支援を。

移住定住に県人会やふるさと会の人脈を活用してみたら。

本荘の方言をイントネーションも含めた保存を検討したら。



鮎川新駅の設置を再考してほしい。

コミュニティバスは料金を下げることで利用者増を見込めるのでは。

高原鉄道バス事業で「山菜採り」「キノコ採り」ツアーを検討したら。アク抜き名人や案内人をつける企画もどうですか?



移住者に働き盛りの人が多いことに驚いた!

もっとざっくばらんに話し合える市民と語る会にしてみたら。

河川公園の管理をマネーも含めて改善を望む。



第2回

議会報告会

「市民と語る会」

およそ
300人
参加



おもな質問と回答

- Q. (仮称)木のおもちゃ美術館の入館料は。
A. 現在、試算検討中のため、決まり次第お知らせする。
- Q. 広い土地があり価格も安い本市の魅力を全国に発信すべきではないか。
A. 移住定住は最重要課題。SNSを活用するなど検討したい。
- Q. 幼保一体型の認定こども園は、幼児保育の質を高め施設整備も進めて欲しい。
A. 先人の教育に対する情熱を理解し、質を落とさないよう進めていく。
- Q. 西目パーキングへのスマートインターなどの設置を。
A. インター設置は引き続き国に対して要望を続けて行く。
- Q. 鳥海ダム建設は何年かかる予定か?取付道路など含めると20~30年もかかるのではないか。
A. 完成までは10~13年位かかる予定と聞いている。取付道路などは、市と国とが協議しながら進め情報公開にも努めていく。
- Q. おもちゃ学芸員養成講座と矢鳥カップMtの日程が重なっている。救済措置は考えているか?
A. 諸行事開催の調整をしている中でのことと考えるが、当局内の連携不足がないか確認する。
- Q. 受動喫煙防止条例の制定を望む。
A. 当局と協議し、議員発案も含めて条例の制定を前向きに考える。
- Q. 地域公民館活動の状況と市の補助金は?(補助金無くなると聞いている)
A. 他の地域の状況・補助要件など調べ、後日回答する。
- Q. 移住・定住施策で、受け入れ側と移住者側の仕事などのミスマッチがないか。
A. 移住者側の条件として重要なことと考える。市では、仕事づくり課で、移住者の希望の仕事を無料で紹介するなど、移住者の希望に添えるよう努力している。
- Q. 総合防災公園のアリーナ運営経費が高いようであるが、今後の見通しを聞きたい。
A. 示してある年間収支案が将来の指定管理料の参考となるが、指定管理者の努力などで収入が出た場合は、指定管理料の減額も考えられる。
- Q. 議会広報(市広報)の字体が小さく読みづらい、検討できないか?
A. 文字は大きく、読みやすく、写真などをいれて、分かり易い紙面づくりに努力している、貴重な意見として受け止め努力する。

市議会では、市民に開かれた議会を目的として、6月16日から29日までの期間に市内10会場で開催された議会報告会「市民と語る会」を開催しました。議員が、各地域に出向き、議会活動の状況や市政の現状を報告するとともに、市政や議会に対する意見、要望を市民から聴くものです。

開催状況		
開催日	曜日	会場名
6月16日	金	本 荘：鶴舞会館
		東由利：有鄰館
6月17日	土	本 荘：職業訓練センター
		西 目：シーガル
6月20日	火	大 内：農村環境改善センター
6月21日	水	鳥 海：紫水館
6月22日	木	矢 鳥：日新館
6月27日	火	本 荘：市民交流センター
6月29日	木	由 利：善鄰館
		岩 城：岩城会館